

Q&Aで理解する

金利ある世界での 預金取引の基礎知識

川居宗則 経営デザインコンサルティングオフィス株式会社
代表取締役／中小企業診断士

預 金利の上昇は、日本銀行の金融政策の転換が大きな要因である。2024年に長年続いていたマイナス金利政策が解除され、金融機関では市場金利の上昇に際して預金金利を引き上げる必要性が高まっている。

日銀が金融緩和からの政策転換を進める中で金利が上昇し、これが預金金利にも影響が及んでいるのである。

金融機関にとって、預金は融資の原資となる重要な資金調達手段だ。金利上昇局面では預金獲得競争が激化するため、魅力的な金利を提示しなければ預金を確保できない。メガバンクやネット銀行が競争力のある金利を提示すると、地域金融機関もそれに対

Q1 そもそも預金金利が上昇しているのはどんな理由からなの？



抗せざるを得なくなる。預金が集まらなければ、融資に回せる資金がアンバランスになり、貸出金利を得るという収益機会を逃すリスクが高まるためだ。預金基盤の強化は、金融機関の経営安定性を高めるうえでも不可欠である。

海外との金利差も預金金利上昇を後押し

資金運用ニーズも変化している。低金利時代には預金以外の運用手段、例えば投資信託などが注目されていたが、金利上昇局面では「安全性の高い預金でも一定の利回りが期待できる」という認識が広がり、預金への資金シフトが起こりやすくなる。

金融機関はこうした資金を

POINT

- 日銀が金融緩和から政策転換したことが大きく影響
- 預金獲得競争が激化し、各金融機関が魅力的な金利を提示

ワイド特集

徹底マスタ―！

預金獲得の

アプローチ&トーク術

金利ある世界で求められる推進のポイント

金 利ある世界となり、預金獲得競争が激化している。預金取引は安定的な資金調達手段であり、融資の元手となるものである。本ワイド特集では、預金取引の重要性をみとうえで、預金獲得のためのアプローチ方法やセールストークについて解説する。